

2026年度 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科 臨床教育シンポジウム

日本の子どもの こころの発達の 真理を探る

子どものこころや脳の発達の真理を探るためには、いわゆる横断研究では見えてこない、さまざまな環境との相互作用を含めた胎児期からの長期的な追跡調査(前向きコホート研究)が必要です。武庫川女子大学では2004年から科学技術振興機構／社会技術研究開発センター「脳科学と社会」「日本における子供の認知・行動発達に影響を与える要因の解明」(すくすくコホート)として出生時から、2009年から『武庫川チャイルドスタディ』『すくすくコホート三重』としてコホート研究を継続しています。また、鳥取大学では5歳児からのすくすくコホートに引き続き、学校コホート研究を行いました。これらは、現在の環境省のエコチル調査の基盤となっています。本シンポジウムでは子どもの発達研究におけるコホート研究の重要性について考えたいと思います。

日時

2026年

10/31

土

13:00-16:30

(受付開始 12:30)

参加無料(要事前申込み)

会場

武庫川女子大学中央キャンパス 公江記念館地下1階大講義室

ハイブリット(会場〈定員100名〉+Zoomによるオンライン)で開催予定

※感染症等の状況により、オンライン開催のみとなる可能性があります。

参加ご希望の方は
下記の申込フォームから
お申し込みください



プリナリートーク

子どもの発達研究におけるコホート研究の意義

中井 昭夫(なかい あきお) | 武庫川女子大学 教育総合研究所／大学院臨床教育学研究科・教授

特別講演1

武庫川コホート研究の成り立ちと目的～20年を振り返って～

河合 優年(かわい まさとし) | 武庫川女子大学・名誉教授

特別講演2

鳥取すくすくコホート研究と学校コホート研究

谷中 久和(やなか ひさかず) | 鳥取大学 地域学部地域学科人間形成コース・准教授

ディスカッサント

これからの子どもの発達コホート研究にむけて

中山 留美子(なかやま るみこ) | 武庫川女子大学 教育総合研究所／大学院臨床教育学研究科・教授

主催：武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科

後援：西宮市教育委員会

お問い合わせ

武庫川女子大学教育総合研究所 シンポジウム担当

Mail : rinkyo@mukogawa-u.ac.jp

シンポジウム終了後、大学院臨床教育学研究科(男女共学)の入試説明会を実施します。

講師プロフィール



中井 昭夫(なかい あきお)

小児科専門医、子どものこころ専門医、公認心理師、臨床発達心理士。1986年 福井医科大学を卒業、1991年 同大学院博士課程修了(医学博士)。McGill大学モントリオール神経研究所、福井県こども療育センター主任医長、福井大学子どものこころの発達研究センター特命准教授、兵庫県立子どもの睡眠と発達医療センター副センター長などを経て、2018年より現職。専門は発達行動小児科学・小児精神医学・臨床発達心理学。2005～2008年 科学技術振興機構/社会技術研究開発センター「脳科学と社会」の研究計画策定、行動計測グループメンバーとして従事、2009～2011年「脳科学と社会」JCS(Japan Children's Study)委員会委員を務めた。主な著書に『いま、小児科医に必要な実践臨床小児睡眠医学』(2015 診断と治療社・監修)『発達性協調運動障害・不器用さのある子どもの理解と支援』(2019 金子書房)、『イラストでわかるDCDの子どものサポートガイド～不器用さのある子の「できた」が増える134のヒントと45の知識～』(2022 合同出版・編著)など多数。



河合 優年(かわい まさとし)

名古屋大学大学院教育学研究科修了、博士(教育心理学)。三重大学教授、武庫川女子大学教育研究所教授・同所長、臨床教育学研究科研究科長、武庫川女子大学副学長などを歴任。2026年 武庫川女子大学名誉教授。専門は発達心理学・教育心理学・乳幼児発達学。乳幼児期の感覚運動発達、社会性の発達、コホート研究など多岐にわたる子ども研究を展開している。主な著書に、『児童心理学の進歩』(2012～2021 金子書房 編著)『保育の心理学』(2013 ミネルヴァ書房 編著)『アスレチックスキルモデル』(2021 金子書房 編訳)『児童心理学・発達科学ハンドブック 第1巻』(2022 福村出版 編訳)『子ども点描 子どものかたまり』(2026 福村出版)など多数。本発表のもととなった科学技術振興機構/社会技術研究開発センター「日本における子供の認知・行動発達に影響を与える要因の解明」の統括補佐として研究に従事した。



谷中 久和(やなか ひさかず)

2004年 福島大学卒業、2006年 北海道大学にて修士(医科学)、2009年 同大総合研究大学院大学にて博士(理学)を取得。2006年より科学技術振興機構の研究員として研究に従事し、2009年から2012年まで福井大学特命助教を務めた。2012年に鳥取大学に着任、子どもの発達・学習研究センター特命助教(2014～2016)、地域学部講師(2016～2021)を歴任。2021年より鳥取大学地域学部地域学科人間形成コース准教授(現職)として教育・研究に従事している。専門は発達心理学、生理心理学、実験心理学、認知神経科学、特別支援教育学。



中山 留美子(なかやま るみこ)

2004年 三重大学卒業、2008年に名古屋大学大学院にて博士(心理学)を取得。2009年より三重大学共通教育センター・高等教育創造開発センター特任講師、2011年 同センター講師、2013年 奈良教育大学准教授、2023年 同教授。2025年より武庫川女子大学教育総合研究所教授(現職)として教育・研究に従事し、河合名誉教授のコホート研究を一部引き継いでいる。専門は発達心理学、人格心理学、教育心理学。主な著書に『個と関係性の発達心理学:社会的存在としての人間の発達』(2018 北大路書房)、『エピソードに学ぶ 教育心理学』(2022 有斐閣 編著)『発達と教育をつなぐ心理学:自律的なエージェントとしての子どもをとらえる』(2025 ナカニシヤ出版)など。

武庫川女子大学大学院 臨床教育学研究科(男女共学) 入試説明会のお知らせ

シンポジウム終了後、16時40分より、本学大学院臨床教育学研究科(修士課程・博士後期課程)の入試説明会を開催いたします。

修士課程

主として社会人を対象とした男女共学の夜間制大学院です。現職教員・対人援助職を対象に特別選抜を実施しています。また、専修免許状の取得(一種免許からの上級申請)が可能です。4年生大学卒でない場合も、個別入学資格審査により出願資格を得ることができます。

博士後期課程

男女共学の昼夜開講制です。臨床教育学(夜間)・教育学(昼間)・臨床心理学(昼間)の分野があります。



日時

10/31(土) 16:40～
(シンポジウム終了後)

会場

武庫川女子大学 中央キャンパス
研究所棟3階 306教室

キャンパスマップ



交通アクセス



阪神電鉄
「鳴尾・武庫川女子大前」駅より
徒歩7分